NEC

NEC Storage Plug-in for Containers v3.17.3
Release Notes



iStorage

IV-0T-402-005-10

Contents

本書について 1
対象読者 1
お問い合わせ先 1
製品ドキュメントの入手先 1
製品の入手先 2
本リリースについて 2
ソフトウェアおよび、ハードウェア要件 2
　OS 2
　ソフトウェア 2
　ストレージシステム 3
新しい機能および、重要な修正 3
制限事項および、留意事項 5

本書について

本書は NEC Storage Plug-in for Containers v3.17.3 の最新情報を提供します。本ドキュメントには、Quick Reference Guide 作成時点では記載されなかった内容および、既知の問題の情報が含まれます。

対象読者

本ドキュメントの説明は、NEC Storage Plug-in for Containers を使用する顧客を対象とします。

お問い合わせ先

PP サポートサービスにお問い合わせください。

製品ドキュメントの入手先

本製品のユーザー向け情報はサポートポータルで入手できます。製品リリース後に追加された重要事項を含む情報は、サポートポータルにて確認してください。

製品の入手先

Storage Plug-in for Containers のソフトウェアおよびドライバーは、Red Hat 社のコンテナレジストリから入手してください。
該当製品の最新バージョンをダウンロードしてください。最新バージョンには、重要な更新が含まれます。

本リリースについて

本リリースでは機能追加と不具合の修正を行いました。

ソフトウェアおよび、ハードウェア要件

本リリースでサポートされるソフトウェアおよび、ハードウェアを以下に記載します。下記表に記載のないソフトウェアおよび、ハードウェアは本リリースのサポート対象外です。

OS

Storage Plug-in for Containers は以下の OS をサポートします。

Operating System
Red Hat Enterprise Linux 8.2 - 8.4, 8.6 - 8.8, 8.10, 9.0, 9.2, 9.4, 9.6
Red Hat Enterprise Linux Core OS 4.18 - 4.20

ソフトウェア

Storage Plug-in for Containers は以下のソフトウェアをサポートします。

Software	Version
Red Hat OpenShift Container Platform	4.18 - 4.20

ストレージシステム

Storage Plug-in for Containers は iStorage V100, V300 と iStorage V110, V310/V310F をサポートします。

項目		説明
サポートストレージシステム		iStorage V100, V110, V300, V310/V310F
ファームウェアバージョン	iStorage V100, V300	93-02-04 以降
	iStorage V110, V310	A3-04-02 以降
	iStorage V310F	A3-04-02 以降
プロトコル		iSCSI

新しい機能および、重要な修正

- Red Hat OpenShift Container Platform (OCP) 4.19, 4.20 をサポート
- OCP アップグレード追従をサポート
- iStorage V110, V310/V310F におけるクローン操作のサポート
- iStorage V110, V310/V310F における Immutable Snapshot のサポート
- ノードあたり最大 LUN 数 2048 設定機能の追加
- Offline Port 変更機能のサポート

不具合の修正

ホストモードオプションに関する修正

- 問題:
    - ホストグループ作成時、プラグインはホストモードオプション（HMO）をデフォルト値「91」に設定していました。ユーザーが HMO を変更しても、ノード再起動後にデフォルト値の「91」に戻り、変更が保持されない問題がありました。
- 修正内容:
    - デフォルトのホストモードオプションが、「2、22、25、68、91」に設定されるようになりました。

HMO 番号	HMO の選択条件
2	iStorage V110, V310/V310F からデフォルトで動作 補足事項：PERSISTENT GROUP RESERVATION の Key 登録のないホストから TEST UNIT READY コマンドが発行されると、ストレージ システムはデフォルトで RESERVATION CONFLICT ステータスを応答します。しかし、ホストによっては GOOD ステータスを期待する場 合があります。このホストモードオプションを有効にすると、ストレージシステムは TEST UNIT READY コマンドの応答を RESERVATION CONFLICT ステータスから GOOD ステータスに切り替えます。
22	iStorage V110, V310/V310F からデフォルトで動作 補足事項：PERSISTENT GROUP RESERVATION の Key 登録をしていないホストから MODE SENSE コマンドが発行されると、ストレージシステムはデフォルトで RESERVATION CONFLICT ステータスを応答します。しかし、ホストによっては GOOD ステータスを期待する場合があります。このホストモードオプションを有効にすると、ストレージシステムは MODE SENSE コマンドの応答を RESERVATION CONFLICT ステータスから GOOD ステータスに切り替えます。
25	iStorage V110, V310/V310F からデフォルトで動作 補足事項：ホストから PERSISTENT RESERVE OUT コマンド（Service Action = REGISTER AND IGNORE EXISTING KEY が発行された際、削除対象の Key がストレージシステムに登録されていない場合、デフォルトでは RESERVATION CONFLICT ステータスをホストに応答します。しかし、ホストによっては GOOD ステータスを期待する場合があります。このホストモードオプションを有効にすると、ホストへの応答を RESERVATION CONFLICT ステータスから GOOD ステータスに切り替えます。
68	Linux のホストに接続している環境から Page Reclamation 機能を利用する場合。 補足事項：このホストモードオプションは、Linux 2.6.33 以降を接続した際に有効になります。
91	OpenStack/OpenShift(K8s) の I/O データパスとして利用されるホストグループ（ファイ バチャネル接続時）または iSCSI ターゲット（iSCSI 接続時）を手動設定で作成する場合

- 追加のホストモードオプションを設定する場合は、Secret ファイルの「hostModeOptions」属性で指定可能です。プラグインはユーザー指定値とデフォルト値の両方を適用し、ノード再起動後もこれらが保持されるようになりました。

制限事項および、留意事項

- ReadOnlyMany の PVC を Pod にマウントする際に、Pod 作成に失敗することがあります。Pod 作成に失敗した場合は、oc describe pod <pod_name>コマンドを用いて、エラー内容を確認してください。"read-only file system"エラーが発生する場合は、Pod 設定の spec.volumes.persistentVolumeClaim.readOnly を true に設定してください。
- OpenShift Virtualization で仮想マシンディスクとして利用しているボリュームの拡張操作をしても容量が拡張されない場合、その仮想マシンを再起動してください。
- PVC の削除時に障害が発生した場合、PV を直接削除する必要があります。もし、その PV に finalizer が存在していると PV の削除は失敗しますが、finalizer を削除すれば、リトライによって処理が成功します。
- OpenShift Virtualization では ReadOnlyMany は非サポートです。
- ストレージとの接続に https を利用し、証明書の検証を有効化する場合は、証明書を Storage Plug-in for Containers のコンテナイメージ内にインストールする必要があります。
- プラグイン稼働中のコントローラーのアップグレード操作はサポートしていません。アップグレードを実施する際は、プラグインの停止を確認して実施してください。

NEC Storage Plug-in for Containers v3.17.3
Release Notes

IV-OT-402-005-10

2026 年 7 月 第 10 版 発行

日本電気株式会社

© NEC Corporation 2022-2026